

# 御池沼沢ニュースレター

令和8年4月22日 Vol.146

今年度も御池沼沢植物群落の環境保全活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。4月の活動もみなさんのご協力により無事進めることができました。4月の活動を振り返ります。

<4月の活動内容>

## ○西部指定地でのタケの伐採（ゾーンⅦ-1：タケ樹林ゾーン）

今月は、南北に広いゾーンⅦ-1のほぼ全域でタケの伐採を行いました。南側、**メリノール学院通用門付近でマムシが出ました**。伐採の際、万一発見しましたらむやみに近づかないよう、十分お気をつけください。

## ○西部指定地湿地内での観察会（ゾーンⅢ：ミミカキグサ保護ゾーン）

令和8年3月11日の第2回天然記念物部会、4月17日の渡邊幹男先生の視察において裸地状態を保つよう指摘を受けたこともあり、ボランティアの皆さんと裸地状態を保つべく除草をしました。

**谷内坊主の凹凸の境に、モウセンゴケやミミカキグサの生育がさらに広がる可能性があるため、特に凹部を裸地になるように除草しました。**

<ミクリガヤ播種実験の経過について>

ミクリガヤの播種実験の経過について、渡邊先生から現状と今後の方針について話を伺いました。

- ・種子からの芽生えを観察しているが、4月の時点ではまだ確認が難しい。6月頃になれば、確認できると予想される。
- ・芽生えが確認できた後は、他の大型の草が覆いかぶさって日陰を作らないよう、ハサミで周辺の草を刈り取るなど、手作業での管理を行う。
- ・最近の保全活動（かく乱）によって新たに出現した個体群は、既存の群落とは遺伝的に異なる。日本全国をみても面的に広がっており、御池沼沢にしかない価値がある。

<観察・保全体験会の参加者を募集中です！>

日 時：5月16日（土）

9:00～11:00（受付は8:45から）

集合場所：大池中学校

内 容：西部指定地・東部指定地の植物・昆虫などの観察や食虫植物の保全体験会

申し込みはこちらの  
二次元コードから！



**5月の活動予定** 午前9時30分から

5月9日（土） 西部指定地

ゾーンⅠ：谷内坊主ゾーン アキノウナギツカミ等の除草

5月20日（水） 東部指定地

ゾーンⅥ：観察路 ハルリンドウ・ミクリガヤ周辺除草

# 御池沼沢ニュースレター

令和8年5月22日 Vol.147

5月16日(土)に第1回自然観察・保全体験会をおこないました。最初は東部指定地のノハナショウブの開花状況を観察に行きましたが、咲いていませんでした。

西部指定地に移動して、モウセンゴケ・トウカイコモウセンゴケ・ヘビノボラズ・トキソウを観察しました。その後、観察橋付近で抑制植物のヨシを刈り取る保全体験をしました。観察会の講師である木村裕之さんは昆虫にも造詣が深く、西部指定地で外来種であるアオスジアゲハの産卵が見られると、くわしく解説してくれました。参加した小学生の子どもが懸命にメモをとっている姿は、運営する側として大変嬉しく感じました。



アオスジアゲハ



アオスジアゲハの卵



観察会の様子

今回のニュースレターを記している田中は、御池沼沢に関わり2年が過ぎました。3年目に入り知見を広げるため、同じ国指定天然記念物『深泥池生物群集』(京都市北区)を訪れました。氷河期から続く古い池で、独自の希少植物が群生しています。御池沼沢と違うのは深泥池では浮島があること、水生植物が分布していることです。ジュンサイやタヌキモがあります。御池沼沢もかつては大池なので水生植物が生育していました。ところで、この「深泥池」は古典文学の説教節『小栗判官』に登場することをご存じですか? 『小栗判官』の中に深泥池の主である「大蛇」が美女に化けて小栗を誘惑するシーンがあります。実際、現地に立つと、「文学」と「自然」を満喫できますよ。



深泥池生物群集(京都市北区)



深泥池ではカキツバタが咲いていました(5月上旬)

## 6月の活動予定 午前9時30分から

- 6月3日(水) 西部指定地 タケ駆除、ミミカキグサ範囲抑制種除草
- 6月10日(水) 西部指定地 観察路を含めた中央観察橋付近除草
- 6月20日(土) 東部指定地 観察路除草、ハルリンドウ、ミクリガヤ  
周辺除草・観察・計測

6月13日(土)実施予定「自然観察・保全体験会」の参加者を6月8日(月)まで募集しています。上の二次元コードにて

